

**議会は建言機関的な存在に**



きくち よしみ  
菊地由三さん  
新生町在住

これまでの議会改革では議会の自主的な取り組みが欠けていたのではないかと。今回の改革案は、細部に渡って検討されており、一日も早い実施を望む。

議員定数の削減問題は、財政面からだけではなく、マチづくりや、どう市民生

活を向上させるかに軸足を置いて議論すべきで、さらなる少数精鋭に徹すべきだ先ごろ、道から市町村合併のワク組構想が提示されたが、行政の反応は消極的に思えてならない。

**これまで以上に市民に身近な議会を！**



うちだ けいこ  
内田啓子さん  
新生町在住

今、議会改革を議員自ら進めていることには大いに賛成です。

議員数削減は経費節減につながるとしても、定例会を三回にすることで、議員の活動がどのように変わるのか、一市民として推移を見ていきたいし、理想と現実

は違うと思いますが、改めて進めていることには大いに賛成です。

議会は、合併の是非を視野に大所高所から論戦し、市民に考える資料を提供し、議会の存在を示してほしい。議会は、チェック機関から建言機関的存在になってもらいたい。

革を叫ぶのであれば効果があるような取り組みを期待したいと思います。

議員数削減に伴って議員個々の仕事が増すと思えますし、これまで以上に市民の声を反映させるためには、議会活動を専従的にやるのが望ましいと思えます。

そのためには、議員報酬は生活給でなければこれからは厳しいでしょうね。大変だと思えますががんばってください。

そのためには、議員報酬は生活給でなければこれからは厳しいでしょうね。大変だと思えますががんばってください。

**ざっくばらん**



**議会改革について伺いました**

**積極的な意見交換を**



なかやま のぼる  
中山 登さん  
中央町3丁目町内会長

活動が見えにくいのではないかと。町内会の活動が長い中山さん。たとえば、「連合町内会などに年

**議会を身近に**



ふじい せいこ  
藤井節子さん  
登別東町在住

私はいつも議会傍聴に行きたいと思っています。本会議の開かれている状況を、近

**改革の意味するものは**



もとす まつみ  
本巣松美さん  
老人クラブ「梅光会」会長

が、当市も同様である。改革の意味するものは何か？ 注意すべきは財政に合せた削減になつては、全体のパイを小さくする

1回くらい議会側から、意見交換の場を申し入れるなどをしてはどうか」とも。また、「定数削減の声をあげた一人だが、議員一人より二人のほうが、市民からの情報をつかむことはできるとは思っている、議員にしっかりとがんばってもらって、議員生活を保障する報酬のあり方も考えなければならぬのではないかと」と話してくれました。

くの公共施設や自宅のパソコンで見ることが出来ないのだろうかと考えています。室蘭では、やっているよ。また、登別では午後一時から議会が開かれています。午前中から出れないのでしょうか。議会改革のテーマをいただきましたが、普段考えていることを話しました。

だけの事になる。常に考えるべきは、経費対効果を見極めながら、政策・改革を推進する事が肝要である。議員定数削減や、視察回数減、定例会年三回開催などの見直しにより今迄と同じ、いやそれ以上の成果を上げることが望まれる。

議会は、これで満足することなくさらに一層の改革に邁進すべきである。